

米日の中国侵略戦争阻止!
沖縄を軍事要塞にするな!

全基地撤去!

日米安保粉砕! 岸田打倒!



2・24 新宿反戦デモ

全国統一行動

4・28

沖縄デー集会

渋谷デモ



(上) 昨年の5・15 沖縄闘争。国際通りデモ
(下) 2・19日ウ復興=戦争会議粉砕闘争
国家権力と激突しながら会場・経団連会館へ

Stop the Genocide in GAZA!
Never allow US-Japanese
War on China!

4月28日(日)
13時~ 集会

代々木公園
けやき並木

★集会後、渋谷デモ



4・28沖縄デー・・・1952年4月28日のサンフランシスコ講和条約発効での日本「独立」と引き換えの沖縄の分離=「売り渡し」(米軍統治の継続)であり、「屈辱の日」と呼ばれる。同日発効の日米安保条約とともに、全面的基地強化、アジアへ世界への出撃拠点化の出発点でもある。4・28沖縄デーは、今も続く「基地の島」の現実を覆す、「5・15」と並ぶ闘いの原点だ。軍事要塞化と対決する沖縄の闘いと連帯し、<日米安保粉砕・全基地撤去、中国侵略戦争阻止・岸田打倒>の闘いに立とう。

主催：改憲・戦争阻止! 大行進

千葉県千葉市中央区要町2-8 勤労千葉気付 / 東京都台東区元浅草2-4-10 五宝堂ビル5階
TEL 080-6053-1751 (本山) kaikensoshi_daikoushin@yahoo.co.jp



ブログ

ツイッター

戦争・腐敗の岸田たおそう！ 日本の参戦許すな

沖縄と連帯し 首都・東京揺るがす反戦デモを

反戦反核闘争つづしの8・6広島弾圧粉碎！ 5人の仲間の奪還を！

2月28日、昨年8月6日朝の原爆ドーム前での反戦反核集会の参加者5人を、戦前来の治安立法「暴力行為等処罰法」をもって不当逮捕した。前日の27日には市議会で、ドーム前周辺での集会を事実上「禁止」する「請願」が採択された。反戦反核闘争を圧殺するための治安弾圧だ。

8月6日朝は、核武装・戦争翼賛を叫ぶ右翼が集会妨害を図り、教育勅語を市職員研修で使い

「はだしのゲン」を学校教材から排除した広島市・松井市長が集会禁圧を狙った。それを打ち破って集会を行ったことそのものを「暴力行為」などと称して「罪」としたのだ。絶対に許すことはできない。参戦国化へ突き進む岸田政権・国家権力による、広島・長崎の被爆者を先頭にした核と戦争への怒りをたたきつづすための弾圧だ。大反撃をたたきつけ、弾圧を粉碎し、5人の仲間を奪還しよう。

中国侵略戦争への「参戦国」化に突き進む岸田

腐敗を極め政治危機を深める岸田は、中国侵略戦争参戦ー戦争国家での突破に死活をかけている。

2月冒頭の日米共同海上演習(キーン・エッジ)は、初めて中国を「敵国」として明示した(右記事)。南西諸島を次々と攻撃拠点にしながら対中国作戦を行う米海兵隊のEABO(遠征前進基地作戦)をベースにした日米共同作戦計画原案をすでに策定し、来年25年に実動訓練を行い、実戦化しようとしている。

2月19日に開かれた日ウクライナ経済復興推進会議では、昨年末に戦後初めて「殺傷兵器輸出」に踏み切ったことを背景にして、ウクライナ戦争を徹底的に推進しながら政府・資本が一体で戦地にどんどん乗り込み、戦争によっ

て権益を強奪していく本格的な「帝国主義国家」として登場した。さらに4月10日の岸田訪米ー日米首脳会談を、日米安保の中国侵略戦争同盟への決定的飛躍の場として位置づけている。

没落するアメリカ帝国主義が、自らの世界支配の最大の破綻点である中国の支配体制を暴力的に転覆する侵略戦争に踏み込もうとしている。岸田は帝国主義の一角で、現下のラファ軍事侵攻ーガザ全土の大虐殺に加担し、ウクライナ戦争推進ー参戦国として登場し、この中国侵略戦争に主体的積極的に参戦しようとしているのだ。日本帝国主義・岸田政権を打倒する反戦闘争が決定的だ。

2/5 琉球新報

仮想敵国に「中国」初明示

日米演習 台湾有事へ強い危機感

自衛隊が実施中の東シナ海の演習で、仮想敵国を初めて「中国」と明示した(キーン・エッジ)が4日、複数の政府関係者への取材で分かった。演習を用いた過去の演習と比べ、大きく踏み込んだ想定にした。演習はインド・オーストラリアを巡るシミュレーションで、シナリオの柱は台湾有事。防衛省は特定防衛施設法に基づき、シナリオを特定秘密に指定した。数年以内に中国が台湾に武力侵襲するのではないかと懸念が高まっており、今回の敵国名変更は日本の強い危機感の表れといえる。

台湾有事の日米共同作戦計画策定の流れ

- 2023年12月 ▶ 日米共同作戦計画の原案完成
- 24年2月 ▶ 日米共同統合演習(キーン・エッジ)
- 結果を原案に反映
- 12月までに ▶ 正式な共同作戦計画策定
- 25年ごろ ▶ 日米共同統合演習(キーン・ソード)
- 共同作戦計画の有効性を検証

※政府関係者への取材による

沖縄のミサイル基地化阻止！ 日米安保＝戦争同盟粉碎！



中国侵略戦争阻止の最前線の激突点こそ沖縄だ。南西諸島をミサイル基地化し(長射程ミサイル配備も!)、陸自第15旅団の師団化、うるま訓練場、弾薬庫建設をはじめ自衛隊の大増強を推進し、戦後的な地方自治も完全に破壊する「代執行」による辺野古基地建設強行で、沖縄全土の全面基地化ー軍事要塞化を狙っている(日本全土もだ!)

だが、沖縄の労働者人民の不屈の怒りと闘いは燃え上がり、日米安保＝戦争同盟と帝国主義戦争に立ちはだかっている。沖縄の闘いと心底から連帯し、中国侵略戦争阻止、日米安保粉碎・全基地撤去の闘いを！沖縄ー全国を貫き、参戦に突き進む岸田打倒の反戦闘争を爆発させよう。「4・28 沖縄デー」に、首都・東京を揺るがす反戦デモに立とう。

4・10日米首脳会談粉碎